



ご利用者のお一人お一人が  
安心して過ごせる場づくりをベースに  
より理想的な暮らしの在り方を提供することができるよう  
常に私たちは創造性豊かに福祉をデザインします。



**We're all creators!**



未来からの課題です。

だから

未来を熱くせよ。

福祉とは。

チームワークが紡ぎだす、みんなの笑顔



宮澤 敦史  
みやざわ あつし

支援スタッフ(入所)

伊藤 晶  
いとう あき

支援スタッフ(入所)

町田福祉園はどんな場所？

**宮澤** 重度の知的障害を持っていても安心して生活できる場所。というのは利用者さんが判断することなのですが、自分の家がここになったという感覚に近づけてもらえるよう、努力しています。

**伊藤** 私が最初にここへ見学に来たとき、



笑っているスタッフが多かったのは印象的でした。入ってくださっている看護師や心理の先生、精神科の先生、それに施設長なども含め、職種や立場は関係なく、皆さんいつも笑顔ですよ。新人スタッフに対しては、頼ってもらえるような存在になれるようにいつも考えています。

**宮澤** 以前よりOJT<sup>※</sup>には力を入れていて、ベテランスタッフ同士が話せるのは当然として、その中に新人さんが溶け込んで、きちんと自分の意見を言えるように、会議をしたりツールを使ったりして、話せる場を企画したりもしています。私は今、サブマネージャーという役職に就かせてもらっているのですが、雰囲気も良くて、スタッフも明るく仕事できて、利用者さんも楽しそうにいたりすると、立場的にすごく嬉しいです。

※ On the job training の略

お二人の仕事内容は？

**伊藤** 利用者さんの生活だけでなく、人生に携わり、それを一緒に考える仕事です。どんな時にも関わりを諦めない姿勢を、大切にしています。

**宮澤** あとは、利用者さんを取り巻く環境—行政やご家族、医療機関などの橋渡しをする役割もあります。今だけでなく、3年後、5年後にご本人がどういう状態なのかというビジョンを見据えて支援計画を作り、その人にとって一番いい人生を考えています。

理想的な暮らしの在り方とは？

**宮澤** 誰もが安心できる生活。最近は理解も進んできたとはいえ、病院やコンビニの店員の接客など、もう少し配慮があればいいのですが…。国や地域という単位で、意識が変わっていくのが理想ですね。

**伊藤** 地域にその人の居場所があり、その存在を理解してくれている人がいるということ。歩いていて『あの人どうしてる?』と声をかけてくれたり、何かあれば頼れるような存在があったらいいと思います。

町田福祉園が考える福祉の価値観とは？

**宮澤** 喜怒哀楽を出せる場所だということ。それって、ちゃんと向き合っているからできることでしょう。感情を表に出せない人の行動の裏にある思いも汲んで真剣に考えるし、個々の障害特性や個性も、スタッフ全員で共有しています。また内部外部の研修が充実しているので、専門性の高いスタッフが多くのことにも価値があると感じています。

**伊藤** 私は家庭の事情で一度ここを辞め、他施設を経験してから戻ってきたのですが、たとえば普段から園外に気軽に散歩に出掛けられることや、色々な棟外活動があり、障害の程度に関係なく参加できる事など、ここでは当たり前だった多くのことが、実は当たり前でなかったと気づかされました。また、ここはスタッフの「やりたい」を尊重してくれて、実際やるとなったらすぐ行動に移せます。それも一人ではなく、スタッフ全員が意見を出し合い、同じ方向性の目標を持って取り組めるんです。だから、利用者さんにとってより過ごしやすい場を作れるのだと思います。そんな『居場所作り』から始まり、一人でも二人でも地域の問題を解決できたら嬉しいですね。また、地域で出会った人たちがそこに価値を見出し、やがて福祉の仕事に就くようになってくれたらいいなと思います。



**宮澤** どれも、みんながより良い生活ができるようにという思いが根っこにあるんです。重い障害があっても、その一人ひとりが違い、それぞれに思いもあり、自分らしい人生を歩み、自由がある。どんな人間もフラットなんだということを、発信したいですね。



中井 翔子  
なかい しょうこ

支援スタッフ(通所)

理解しあうことから理想的な暮らしへ

中井さんの仕事内容は？

利用者さんの生活をする上でのお手伝いや、活動を楽しんで頂けるよう盛り上げたり、一緒に楽しんでいます。そんな活動の中で、また、外出に行ったりすることで、利用者さんが笑顔を見せてくれた時などは、ここで働いて本当に良かったなと感じます。

町田福祉園の価値とは？

利用者さん一人ひとりの生活や将来について、真剣に考える人がたくさんいる場所だ、ということですね。障害があるからといって、出来ないと決めつけたりせず、いろいろなことにチャレンジできる場所です。

理想的な暮らしの在り方とは？

自分のことを理解してくれる人が周りにいることです。『心地よい疲れが残って

いるけれど、今日は楽しかった』と思えるような暮らしが理想です。

町田福祉園から発信したいことは？

私たちも同じですが、“理解してくれる人が周りにいること”が理想だと思うんです。“この人たちはとても個性豊かで素敵な人たちなんだよ”ということも、発信していきたいです。少しでも多くの人に、障害への理解がさらにひろがったらいいなと思います。

